



【お知らせ】

○令和3年度総会

4月21日 書面表決

役員改選

理事	会 長	和田 道夫
理事	副会長（総務）	石畠 幸治
理事	副会長	松澤 恵
理事	副会長	大谷 宏
理事	副会長	山下 敬一
理事	センター長	永島 敬夫
理事	会計	藤田奈緒美

理事	本庄支部長	大谷 宏
理事	本山支部長	山下 敬一
理事	魚崎支部長	石畠 幸治
理事	住吉支部長	米倉恵都子
理事	御影支部長	西蔵 全祐

理事	広報部長	和田 道夫
理事	研修部長	山下 敬一
理事	犯罪予防部長	大谷 宏
理事	協力組織部長	松澤 恵

	会計監査	藤川 正敏
	会計監査	小野利日公

	相談役	清原 孝重
--	-----	-------

会長退任挨拶 清原孝重

この度、会長を退任するに当たって2期4年に渡って色々のご協力をいただきました東灘区保護司会の皆様、関係各位に厚くお礼申し上げます。

この1年新型コロナウイルス感染防止の為、計画していました行事、特に「社会を明るくする集い」の中止によって保護司会の広報活動が出来なかったことが残念でなりません。

今年度より和田新会長にバトンタッチし微力ながら相談役として協力して参ります。

東灘保護司会のますますの発展をお祈り致します。

会長就任挨拶 和田道夫

この度、会長に就任しました和田道夫です。

昨年度はコロナのため、総会、新年互礼会、社会を明るくする集い、研修旅行、学校との連携強化事業など、ことごとく中止となりました。今年度は「コロナ禍だからできる」「コロナ後も続ける」の「思い」で対面とオンラインを併合した活動を目指したいと思っております。

さて、現在最重要課題は保護司の確保であります。そのために、地域諸団体との繋がり構築とそこでの広報宣伝活動に取り組んでいきたいと思

ます。そして、新任保護司の育成のため、支部会で悩みや不安、保護観察対象者との面接を行う際の工夫などの意見交換をお願いします。併せて、法務省等主催のオンライン講演会受講を推奨して下さい。

終わりに、当会の活動が社会に貢献できる事を祈念し、保護司自身の成長、向上に繋がるよう、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

○ホームページ作成 この1年を振り返って

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、この一年は、令和2年度総会書面表決で始まり令和3年度総会書面表決で終わり、その間、社会を明るくする集い、研修旅行、学校との連携強化事業、地域別定例研修会など、ことごとく中止となりました。

この中において、広報部会では「コロナ禍だからできる」「コロナ後も続ける」の「思い」で、次の二つの取り組みをしました。

一つは、ホームページへの「会員の投稿」をみなさんに呼びかけ、令和元年度全投稿数316件のうち会員投稿48件であったものが、令和2年度は全投稿数409件（前年度比1.3倍）のうち会員投稿190件（前年度比4.0倍）となりました。その結果、令和元年度アクセス数2,319人に対し、令和2年度は6,477人（前年度比2.8倍）と喜ばしい結果を生み出しました。

すなわち、
・主なイベントが中止で「事業報告」が減少した以上に「会員の投稿」が増えた結果、アクセス数は2.8倍となった

・これを連立二元一次方程式で解くと「会員の投稿」1件当たりのアクセス数は「事業報告」の9.5倍であった。

以上から「会員の投稿」を頑張れば、アクセス数が増え「事業報告」等保護司会活動の記事も目に触れると言えます。

二つ目は”社会を明るくする運動” YOUTUBE 広報活動にチャレンジしました。それぞれの視聴回数（令和3年3月末現在）は次のとおり。

ポスターのアニメ化	118
第1弾 保護司から一言	133
第2弾 更生支援プロジェクトの取り組み紹介	69
第3弾 知って下さい 保護司とは？	178
第4弾 東灘区保護司会の取り組み紹介	59
第5弾 一昨年「H30.7.1 社会を明るくする集い」	20

【参考】法務省【YouTube ライブ】再犯防止ってなに？ 15,368

これは東灘区保護司会定員が全国の1/1000であることを考えると、まずまずの成果であったと言えます。

令和3年度は法務省「保護司活動のICT化3か年計画」の初年度であり、神戸保護観察所からの募集、依頼、要請等の案件には積極的に応えていきたいと思えます。また、ホームページの企画・運営は「単なるコロナ前」には戻さない取り組みにチャレンジしてまいります。応援のほど、よろしくお願い申し上げます。

○メールマガジン第21号（5月1日）

令和3年度重点取組のひとつ「保護司の育成」として「オンライン自主研修」を開始しました。これは観察所の地域別定例研修がコロナの影響で中止になっている今、「コロナ禍でやるべき」試みのひとつです。

教材は法務省などのライブ配信とYouTubeとし、後者は、東灘区保護司会ホームページメニューに「ライブラリー」を開設し、リンクさせています。

主催は広報部会・研修部会で、頻度は2か月に1回とし、ホームページ、会員へのメールで案内し、支部会で受講を呼びかけます。第1回は法務省YouTube公開「再犯防止ってなに？～誰ひとり取り残さないまち、そこでは～」を教材とし、1か月間の視聴期間で、受講レポート（1000字以上）メールをお願いしています。

東灘区保護司会のみなさん、2か月に1回1時間余りの「観る」「聴く」「考える」そして「まとめる」「発表する」にチャレンジを！！

【会員の投稿（保護司関連の話）】

○新聞記事投稿

今朝の神戸新聞に、話題の書籍「ケーキの切れない非行少年たち」の著者のインタビューが掲載されています。（中瀬保護司投稿）



○新聞記事投稿

今日の朝日新聞に参考になる記事が載っていました（桑山保護司投稿）

犯罪が、居場所だった 逮捕に「安心」。少年院の19歳

「捕まって、安心した」。19歳の少年は1年半前、逮捕状を見せられた時の心境を振り返った。思えば、罪を犯し続けて生きてきたような気もす

る。非行の連鎖を、どう断ち切れれば良かったのだろうか。

兵庫県加古川市の少年院「加古川学園」で1月、少年は朝日新聞の取材に応じた。詐欺や恐喝、道路交通法違反などの非行内容で少年院送致された。メガネを掛け、黒髪を短くまとめ、落ち着いた雰囲気だった。

姉と妹、弟2人の7人家族。母とは2人で出かけるなど仲が良かったが、再婚相手の義父とは口もきかなかった。

最初は、小学5年の時のお菓子の万引き。遊び感覚だった。中学でも週2、3回繰り返した。万引き仲間もできた。中2の時には置き引きで警察から取り調べられ、義父に殴られたが、罪悪感はなかった。

高校受験に失敗。建設の仕事も1カ月続かなかった。中学時代の仲間とたばこを万引きして少年鑑別所に入り、保護観察処分を受けた。15歳の時だ。

担当の女性保護司は、幼い頃からの顔見知りだった。「このままの生活ではあかんで」。でも仲間というほうが楽しくて、連絡は無視するようになった。

15歳の夏、遊びに出掛けた東京での万引きで、初めて少年院へ。1年ほどいたが、院内には昔の仲間もいて、反省するような環境ではなかった。

初めて罪の意識を感じたのは、17歳だった2019年の2月。特殊詐欺での金品受け取り役「受け子」として、関西地方の70代ぐらいの女性宅に行った。金に困ったとき、仲間からSNSで「#闇仕事」で検索すると良いと教えられた。

銀行員役だった。スーツは、「中学の卒業式を見に行く」とうそをついて叔父から借りた。教えられたままのセリフを発し、キャッシュカードを受け取った。

「やってしまったな」。女性宅を出た時、お年寄りをだました罪悪感がこみ上げた。でも引き出した50万円を手にした時、高揚感で吹っ飛んだ。

自慢したくなって、何人かの顔を思い浮かべた。その中に、今は高校や職場に通う昔の友達もいた。

自分は取り残されている気がして寂しかった。でも、仕事もない。周りは少年院経験者が多い。もう後戻りできなかった。

その2カ月後、金に困った仲間とともに「美人局（つつもたせ）」をすることに。出会い系アプリで男性をおびき出し、脅す。その後2カ月間で約20人から計約300万円を脅し取った。

そしてその年の6月。いつも通り美人局で脅した男性を消費者金融に行かせ、車で待機していた。

来たのはパトカー。通報されたらしい。車を急発進させ、数キロ逃げたが玉突き事故を起こした。仲間も自分も車から飛び出し、散り散りに走

って逃げた。

数日後のパチンコ店。捜査員から道路交通法違反容疑での逮捕状を示された。車内に残した財布や携帯電話から身元が割れた。

「人生終わった」。こう思うと同時に、犯罪だけが居場所だった自分に終止符が打てる気もしていた。

再非行率は高止まり「意職住」が必要と指摘も

少年が罪を繰り返す割合を示す再非行率は、高止まりが続く。

犯罪白書によると、非行少年の検挙数は2003年の約14万4千人から減り続け、19年には約2万人と2割以下に。再非行での検挙数も減っているが、検挙数の全体に占める再非行率は年々上昇して16年の37・1%をピークに17年と18年は35・5%、19年は34%と横ばいが続く。

連鎖をどう断ち切るか。

神戸保護観察所の中野千（ゆき）統括保護観察官は、意識と職業と住居の「意職住」が必要と指摘する。

非行少年の多くは周囲に頼れる人がおらず、唯一の居場所を不良交友に求めてしまう傾向がある。意欲や住居はもちろん、不良交友ではない居場所としての職場には重要な役割がある。

取材に応じた少年は、2度目の少年院となった加古川学園で、集団寮のリーダーを任された。非行以外で周囲から信頼してもらえる経験を通じ、「ほんまに変わらなあかん」と気持ちに変化が生まれたという。

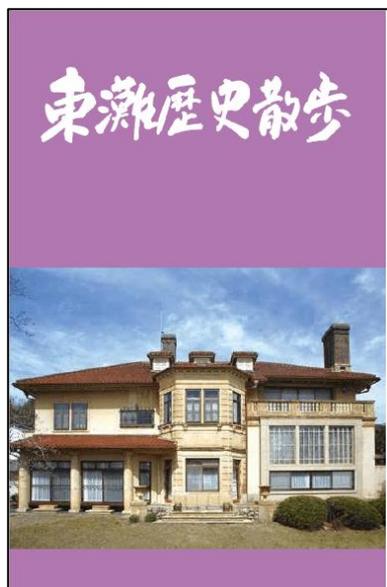
義父とも打ち解け、出院後は義父の会社で一緒に働き、昔の仲間とは距離を置くつもりだ。でも「絶対に非行をしないと切り切れない」と不安も隠さない。（足立優心）

○新聞記事投稿

今朝の産経記事からお送りします。読み応えがありました。（羽島保護司OB・更生保護女性会員投稿）

【会員の投稿（東灘に関するなんでも話）】

○東灘歴史散歩



東灘歴史散歩

各博覽會賞牌受領

素麵製造元 木村梅太郎

素麵製造元 木村梅太郎

素麵製造元 木村梅太郎

不思議な訪問者

「センセイ！ よろしくお願ひいたします。」 スーツを着たおじいさんが、角刈りの大柄な中年男性がある日家にやってきた。正座をし、家中に響く大きな声で「おあいさつです。父に頭を下げて、教師でもない父をなぜ、先生と呼ぶのかわか。父自身も何とも面はゆげな表情だった。かしまった所作が少し芝居じみていて、どんな知り合いなのだろ」と興味を覚えたが、すく外に遊びに出るまじにいわれた。その後、男性は何度かやってきたが、開口一番の「センセイ（）」は変わらなかつた。名前もなせまにやってくるのかも教えてもらえなかつたので、私はその男性を「センセイのおじいさん」と呼んでいた。当時高校生だった私の兄は、

長戸雅子

論説委員 日曜に書く

HOGOSHIのハードル

こっそり入ったパチンコ店で「センセイのおじいさん」と遭遇。例の大声で「これは話しかけるの坊ちゃんでは」と話しかけられた。直後に少し小さな声で「先生には内緒にしておきますからね」と言われたそうだ。「センセイのおじいさん」が保護事件を起して服役し、保護観察の身であったこと、父が保護

「世界保護司デー」の制定を目指す「京都保護司宣言」が探検されたとのニュースには大いに関心を持った。民間のボランティアが矯正の一端を担う保護司制度は世界でもあまり例がなく、政府は「OBAN（交番）」のように保護司を「HOGOSHI」として海外に広めたいと宣言した。

自身も保護司を20年以上務めたが、現状はなり手不足で定数割れし、高裁化も問題となっている。海外に輸出しようというのなら、あまりに民間頼み、民間任せになっている（現在の制度を足らず必要があつたのではないかと主張）。

面談は保護司の自宅で行われることが多いが、対象者が職につくまで、家族が消耗的だったり、家族が経済的に苦しいこともあり、調整に苦労する。「秘密が保たれ、双方が安心して話ができる公的な場所の確保」がまず必要だ。

出所が近づいた人に家族や知人引受人となつてくれる人を探す「環境調整」も行う。引受人となることを承知してくれるのは、父親先の立ち話だけでは対象者を傷す人もい

「世界保護司デー」の制定を目指す「京都保護司宣言」が探検されたとのニュースには大いに関心を持った。民間のボランティアが矯正の一端を担う保護司制度は世界でもあまり例がなく、政府は「OBAN（交番）」のように保護司を「HOGOSHI」として海外に広めたいと宣言した。

自身も保護司である菅原直美弁護士も法律相談ポータルサイト「だまさま」に「HOGOSHI」を指し、これまでより余力がなくなつてしまつた。けれど異昧があるという人が参加できる制度設計が必要ではないでしょうか」と提案する。

「民だからこそ」もつとも保護司側もさまざまだ。10年間、ひとりの対象者も持つことがないという人もいれば、父親先の立ち話だけでは対象者を傷す人もい

「保護司は社会そのもの。この社会へ帰ってきたいと思わせる社会を造る必要がある。人連のあり方や普及活動など（保護司を管轄する）法務省も試されている」（菅原弁護士）

2021. 4. 18

○灘目素麺（和田保護司）

○（東灘）区長お散歩日記 新任のご挨拶 この4月の神戸市の定例異動で新たに区長として赴任いたしました植松賢治です。赴任といいますが、遠くからやってきた感がありますが、私自身は区内で生まれ、育ち、生活す

る、東灘区は「ふるさと」でもあります。すでに1年以上に及ぶコロナ禍において、個々人の生活だけでなく社会経済活動全般においても、様々な制約が続いています。区においても、マイナンバーカードを始めとするICT（情報通信技術）を活用したサービスの提供により、区民の皆さんへの市民サービスの提供にこれまで以上に努めているところです。

一方で、顔を合わせたお付き合いに勝るものもないと信じています。こういう状況だからこそ、（もちろん、感染対策ルールを守りながら）区内のまち歩きなどで、出会いや、感じたことをお伝えできればと思っています。

この思いから、今回から「区長お散歩日記」という表題に変えさせていただきました。

伝統ある「だんじり」祭りや酒造業織りなす酒蔵、海上都市の六甲アイランドと緑あふれる六甲山、美味しいスイーツや多くの学生が学ぶこのまちで、新たな気づきに触れ、少しでも区民の皆さんにお伝えすることができればと思っています。また、その気づきが、新たな気づきに繋がればと期待しています。

世界の喜劇王であるチャールズ・チャップリンの名言に、You'll never find a rainbow if you're looking down. というものがあります。

「うつむいてばかりいたら、虹を見ることができない。」という風に訳せるでしょうか。

これから区民の皆さんと一緒に、身近な「虹」を創っていけたらと思いますのでよろしく願います。

【会員の投稿】

○フェリーチェ手作りハンバーグ専門店（石田保護司）

十二間道路沿い、サポセンの近くです。是非紹介したいと思います。

[https://felice-lunchhamburg.business.site/FELICE\(フェリーチェ\)](https://felice-lunchhamburg.business.site/FELICE(フェリーチェ))

イタリア語ITで
嬉しい/楽しい/幸せな

という意味(o^^o)

自宅近くのハンバーグ
専門店ということで

行ってきました。

品の良い物静かな店内
スマートな印象で

口数少ないけど暖かみ
のあるマスター

爪楊枝にまでとても
気を使っている、

折紙の袋に
入っています。

レモン●水
美味しいです。
でもせっかくだから



赤ワイン（笑）
手作りハンバーグも
油濃くなく食べやすい
サラダドレッシングが
コールドレッシング
ゴマドレッシングとは
少し違いますが、いくらでも食べたくなるような味。

美味しかったで一す！

【事業報告】

○本山支部会

日時 4月4日（日）19:00～22:40

場所 東灘区更生保護サポートセンター

出席者 桑山、和田、山下、川西、松本、藤田、井上、中瀬、大西保護司

議題

・連絡事項

○ホームページだより3月号の説明

○オンライン研修会の受講について

○令和3年度総会（書面議決）について

○保護司の実施経費について（参考 保護司法）

・処遇会議

クレプトマニアについての事例報告と意見交換が主たるテーマで、とても有意義な会であった。

・サポートセンター利用に関するトラブル報告（和田保護司投稿）



○魚崎支部会

日時 4月3日（土）18:30～

場所 魚崎西町会館

出席者 石畠、清原、森本、石岡、高橋、長東、宮田、板井、西口保護司

議題

・会費徴収、支部会計報告

・対象者との面談について

基本的に対面ですが、体調などにより電話などでの接触で可。その旨、観察書への報告書に記すこと。

・東灘区保護司会総会について

紙面総会になりました。改選など重要決定事項を含むので、紙面は4/21までに必ず返送すること。

・研修会《面接の基本について》

（西口保護司投稿）



○本二小離任式

本日、雲一つない青空のもと、校長先生をはじめ20名の先生方の離任式が行われました。桑山保護司、地域の皆さんと出席しました。コロナ禍で簡素化された式でしたが、先生方のやさしいお別れの言葉、全校生徒を代表した6年生男子の、先生一人ひとりへの感謝の言葉、とても素晴らしい離任式でした。先生、どうもありがとうございました。新しい職場でのご活躍をお祈りいたします。(和田保護司投稿)



○住吉支部会

日時 4月10日(土) 10:00~11:00
 場所 佐々木保護司宅
 出席者 羽島名誉会員、佐々木、葉山、沼田、宮地、泉川、米倉保護司



議事

- ・コロナ禍での面接の諸注意等、確認

- ・令和3年度東灘区保護司会総会(書面表決) 4月12日付けで資料送付されますので、21日までに返送すること、等
- ・観察所宛て住所シール、報告書は支部長管理してます
- ・新任保護司委嘱について
- ・学校との連携事業について、検討
- ・「面接の基本」について支部研修
- ・その他、意見・情報交換
 羽島名誉会員からも、心強いアドバイスをたくさん頂きました。(米倉保護司投稿)

○第1回オンライン自主研修のご案内

令和3年4月10日
 東灘区保護司会広報部会、研修部会
 (担当) ホームページ担当 和田道夫

東灘区保護司会

第1回オンライン自主研修のご案内

【教材】①東灘区保護司会 <https://hogoshikai.site/>
 メニュー「ライブラリー」「法務省」「再犯防止ってなに」
 ②YouTube「再犯防止ってなに」検索

公開されており
 いつでも
 視聴できます

再犯防止ってなに?~誰ひとり取り残さないまち、そこでは~

■概況	
0:08~	オープニング
9:03~	「再犯防止」の現状と課題
15:08~	奈良原の取組-VIR①(トラウデン×荒井知寿)
24:54~	奈良原の取組-VIR②
34:13~	豊田の取組-VIR
44:51~	ご意見・ご質問紹介①
50:13~	宮城の取組-VIR
1:01:26~	上川法橋太郎のビデオメッセージ
1:04:49~	ご意見・ご質問紹介②
1:07:41~	エンディング
■出演者(敬称略)	
コメンテーター	・トラウデン 美実(モデル/タレント) ・鈴木 博一(三井住友銀行) ・野口 浩弘(協力雇用主/有隣会社野口石法代表取締役会長) ・早川 憲輔(法務省大臣官房秘書課企画再犯防止推進室長)
コーディネーター	・山本 舞衣子(フリーアナウンサー)

【自主研修の要領】

①YouTube「M.Johanne」をご覧ください。
 ②ご覧になった感想、意見を100字以上にまとめて
hogoshikai11874@gmail.com
 に「所属支部」「氏名」「視聴月日」を記入してメールください。(支部長による代行メールでも結構です)
 送付期限は令和3年5月10日(月)です。(期限遵守と100字以上の感想・意見は必須です)

○東灘区第71回”社会を明るくする運動”メッセージ動画第1回打合せ会

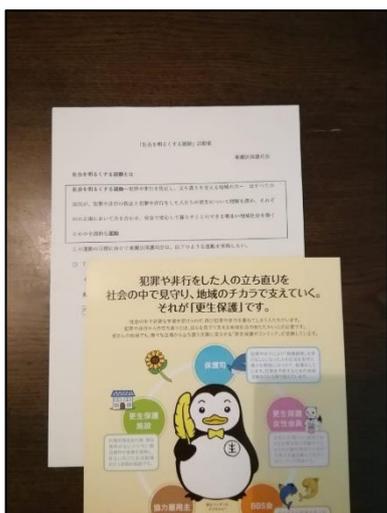
日時 4月18日(日) 13:00~14:30
 場所 甲南大学会議室
 出席者 甲南大学法学部教授、セミ生1名
 東灘区保護司会 和田、大谷、松澤
 米倉保護司
 東灘地区BBS会1名
 内容 第71回”社会を明るくする集い”について話し合った。
 ・コロナ禍のため従来通りの「集い」と広報活動は難しい
 ・御影クラッセ広場でミニコンサートを1時間程度する。
 併せて、7月の1か月、動画配信をする。
 ・保護司会専門部会の役割分担は次の通り
 御影クラッセ広場でのミニコンサート

- ： 犯罪予防部会
- 動画配信： 協力組織部会、広報部会
- ・ 動画配信はBBS会、大学生のアイデアのもと、1～3分程度のメッセージをYOUTUBEにアップし、自由に視聴していただく
- ・ 前田ゼミでの説明会
 - 4月29日（木・祝）14時40分から90分のゼミで
 - ・ 法務省YOUTUBEの紹介 15分
 - ・ 更生支援プロジェクトの取組み 15分
 - ・ BBS会の取組み 15分
 - ・ 第71回”社明集い”動画配信の説明30分
 - 予備 15分
 - ・ 終了後、スタッフミーティング（和田保護司投稿）



○ “社会を明るくする運動” 区役所・御影クラスと打ち合わせ

- 日時 4月23日（金）11：00～12：00
- 場所 クラッセ事務所（会議室）
- 出席者 クラッセ担当者（2名）、東灘区役所担当者（2名）、東灘区保護司会 松澤、米倉保護司



議題 令和3年“社会を明るくする運動”について、協議

7月が社明運動強化月間で、毎年クラッセ前広場で活動させて頂いておりましたが、昨年度は開催出来ませんでした。今後の状況を見て、今年度はどのような形なら社明PR活動の開催が可能か

協議・意見交換しました。（米倉保護司投稿）

○ 更生支援セミナー

- 日時 4月29日（祝）14：40～16：10
- 場所 甲南大学講義室
- 参加者 甲南大学法学部前田教授
- ゼミ生18名（オンライン6名含む）
- 東灘区保護司会 和田、松澤、大谷、石田保護司
- 東灘地区BBS会 1名

内容

第1部 更生保護ボランティア活動について

- 和田保護司から
 - ・ 保護司の活動紹介
 - ・ 更生支援プロジェクトの取組み
- BBS会員から
 - ・ BBS会の活動

の説明

第2部 東灘区第71回”社会を明るくする運動”について

松澤保護司から第71回の活動内容について説明したのち、和田保護司からメッセージ動画応募規定、そしてサンプル動画集の映写をした。



短時間で盛沢山のテーマ、オンライン参加もあり、更に、マスク姿での説明会はなかなか難しいものであると、実感した。（和田保護司投稿）

○ 東灘区第71回”社会を明るくする運動”メッセージ動画第2回打合せ会

- 日時 4月29日（祝）16：30～17：00
- 場所 甲南大学講義室
- 出席者 甲南大学法学部教授
- ゼミ生4名（オンライン1名含む）
- 東灘区保護司会 和田、大谷、松澤、石田保護司
- 東灘地区BBS会 1名

内容 メッセージ動画について話し合い、今後打合せはLINEグループでおこなうことになった。（和田保護司投稿）



東灘区保護司会

令和3年5月22日

東灘区保護司会広報部会、研修部会
(担当) ホームページ担当 和田道夫

第2回オンライン自主研修のご案内

【教材】

指定日時のみ視聴可 各自事前申込

更生保護法人 日本更生保護協会主催

令和3年4月15日発行
月刊「更生保護」第72巻第4号付録

更生保護法人 日本更生保護協会主催

オンライン講演会を開催します

更生保護法人日本更生保護協会では、今般の新型コロナウイルスの感染拡大の状況を受け、本年度もオンライン講演会を、YouTubeで配信します。インターネットが繋がっていれば、初めての方でも簡単に受講できますので、ぜひお気軽にご参加ください!

第3回 **6月3日(木) 14:00~16:00(予定)** **参加無料**
※1回限りの配信です。

親と子の愛着形成 — 愛着障害がこころに与える影響 —

親と子どもの愛着形成が阻害される背景に愛着は、子どもの安心感・安全感と密接に関連し、不安定さや自分や他者に対する攻撃性など愛着障害が、子どものこころと行動に与える影響を解説します。

講師 宮本 信
筑波大学心身障害者特別支援教育研究センター長
2年4月より同大学「発達行動学」の「保護観察のためのQ&A」監修

◆申込方法◆ 申込締切り：5月21日(金)

- ・事前申込制です。
- ・以下のURLにアクセスいただくか、QRコードをタブレットやスマートフォンで読み取っていただき、申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。
- ・URL: <https://kouseihogo-kouenkai.jp/>
- ・日本更生保護協会のホームページからも申し込みます。

日本更生保護協会 お知らせ 検索

申込受付後は、
①「参加申込を受付しました」と自動返信メールが送信されます。
②5月26日以降、申込時に入力いただいたメールアドレスに、講演会を視聴するためのURLをお送りします。
※入力メールアドレスに誤りがあると、URLを送信できません。参加用URLが届かない場合は、申込時のメールアドレスをご確認の上、事務局までご連絡ください。
③開催日時に、②の各URLをクリックすると、講演会を視聴できます。
なお、第3回は指定日時のみ配信となりますので、ご注意ください。

【自主研修の要領】

ご覧になった感想、意見を100字以上にまとめて

hogoshikai11874@gmail.com

に「所属支部」「氏名」「視聴月日」を記入してメールください。(支部長による代行メールでも結構です)

送付期限は令和3年6月16日(水)です。(期限遵守と100字以上の感想・意見は必須です)

